



# バンコク便り



## 1.はじめに

6月から始まったタイの雨期は約6ヶ月間続き、毎日のように雲行きが怪しい時間帯もあるなど湿気の多い日々が続いています。毎日30度を超えています。毎日ジリジリと肌を刺すような日差しは少なくなってきたこともあり、多くの観光客でバンコクは賑わっています。今回も日本の梅雨とは大きく趣の異なる雨期のバンコクよりお伝えします。

## 2 当地ビジネス情報

### ①東根さくらんぼプロモーション実施

6月29日～7月2日の日程で東根市ご一行が3年連続3回目のさくらんぼプロモーションのため来タイされました。今回は佐藤錦及び紅秀峰の取扱量を昨年より倍以上に増やし、本年度GI（地理的表示）を取得した東根市産さくらんぼの認知度向上、販路拡大、果樹を通じたインバウンド客の取り込みを目的とした活動になりました。訪問団はバンコク市内3店舗の百貨店で試食、販売を行いました。店頭ではタイ人富裕層を中心に「甘くて、程よい酸味もあり美味しい」との感想も多く、また一部日本人駐在員からも山形県のさくらんぼということで興味を持ち購入頂くなど反応は良好でした。

加えて「(山形県) 東根市はどこにあるのか」という質問には、パンフレットをお渡しして位置を説明するなど生産地のHIGASHINEやYAMAGATAの認知度向上にも繋がりました。

なお、あわせて日本酒等の東北産品を扱う日本居酒屋、日本向けツアーを扱う現地旅行会社等との商談・情報交換も行い、今後の販路拡大やインバウンド需要の取り込みにもつながるプロモーションになりました。

このような現地プロモーションや視察にご興味がありましたら、全力でサポートさせていただきますので、いつでも下記、弊社海外業務部または齋藤までお声がけください。



店頭に並べられたさくらんぼ



店頭販売の様子



現地企業との面談

## 3. 現地トピックス

今回はバンコク中心部を流れるチャオプラヤ川沿いにある観光スポット「アジアティーク (Asiatique The Riverfront)」に行ってきました。アジアニック雑貨やファッショングッズ、レストラン等も多く出店され、観覧車や夜景も楽しめるバンコクのナイトスポットとして、特に中国や欧米人観光客で賑わっていました。またアジアティーク周辺では再開発計画が目白押しで2018年完成予定の大型複合商業施設（アイコンサイアム）には、今後キーテナントとしての高島屋をはじめ、ショッピングモール、アミューズメントパーク、博物館などが入居予定であり、投資額は約500億バーツ（※約1,650億円）と言われています。

アジアティークがあるチャオプラヤ川周辺には、バンコクの発展ぶりを表すホットスポットとして今後も注目が集まります。

※1バーツ=3.3円にて算出



アジアティーク夜景

【本件に関する連絡先】

海外業務部 石井、榎 023-626-9050

バンコク駐在 (カシコン銀行ジャパンチームトレーニー) 齋藤 +66-(0)6-3206-2823